

# 地区戦略計画委員会

地区戦略計画委員会 委員長 水村 雅啓 (入間 RC)



## 1. ロータリーのビジョン声明と行動計画

2019年、「ビジョン声明」と今後5年間の「行動計画」(Action Plan) からなる新しい戦略計画を発表しました。

### 〈ビジョン声明〉

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指しています。

**ビジョンの目的は、組織を強化し、ロータリーの価値観を守り、これからも長期的に繁栄していくため、未来の方向性を定めることです。**

### 〈ロータリーの行動計画〉

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップという価値観を礎に、過去を称えながら未来を受け入れ、ロータリーが時代に即した組織としてさらに発展し、進化していくための指針となるのが行動計画です。

### 〈四つの優先事項〉

1. より大きなインパクトをもたらす (効果的なプロジェクト…)
2. 参加者の基盤を広げる (のあらゆる活動において DEI を受け入れ実践…)
3. 参加者の積極的なかかわりを促す (会員であるかどうかを問わずにかかわるすべて人と…)
4. 適応力を高める (組織の適応力など運営方法の改善…)

※ロータリーの行動計画は2024年6月までの計画です。今後について、RI理事会は、**優先事項と全体的な戦略的方向性はその後も継続し、新たに「3年間の目標と計画」**を実施することとしました。

## 2. RI理事会の決定事項 3年間の目標と計画 2024.7 から

**3年間の目標と計画 (3-Years Rolling Targets)** は、ゾーン、地区、およびクラブに対する3年間の目標とローリングターゲット (年度ごとに見直す) プランです。目標設定の具体的項目は「ロータリーの行動計画 (方針)」の4つの優先事項に基づいておこないます。

プログラムの評価は2027~28年にかけて行います。

**達成可能な目標を立てた上で、進捗状況を随時確認し、状況に応じて調整を加えていきます。**

### ●具体的な取り組み (クラブ)

・3年間の目標入力と管理は、「クラブセントラル」でおこないます。まずは次年度の目標を入力してみましょう。

・3年間の目標を設定するためには、向こう3年間の会長候補者や委員長、理事会などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。(継続性)

・3年間の目標を立てたら、毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標を再設定して下さい。

### 3. 地区の戦略計画

#### ① 委員会の目的

ロータリーは毎年リーダーが代わるため、主たる方針が変わることを防がなければなりません。特に重要項目の達成に向けては確実な方向性を持ち続ける必要があります。この機能が戦略計画委員会であると考えます。2024-2025年度は、「3年間の目標と計画」の初年度です。これを見据え、「地区のロータリーは何を目標にして行くべきか」を明確にし、「本地区における改善の必要な分野の検討と対策」を実行し、永続的繁栄を追求することを目的にします。

#### ② 2024-2025年度 戦略計画項目

2025-26年度から会長の年次テーマとロゴの作成及び会長イニシアチブを廃止することになりました。つまり、年度ごとのRI会長が方針を示すのではなく、RIが提案する行動計画を軸とした構想が複数年度にわたって活動方針となり、会長はその方針に沿った自分なりの実施計画を実践していくことが求められます。国や地域によって経済、文化は大きく違っています。大きなRIの方針のもとに、各地区、各クラブがその地域にあった目標と計画を立てることが必要であるとの考えがあると思われまます。2024年7月1日からスタートする「3-Years Rolling Target / Plan (3年間の目標と計画)」は、まさにその表れです。

クラブを支援する立場の地区にあっても、これらの対応として地区ビジョン、地区優先項目などをまとめる作業に着手したいと思ひます。

年度内に直前ガバナー、ガバナー、ガバナーエレクトを中心に委員会でまとめていきたいと思ひます。

2024-2025年度にあつては、RIの戦略計画に沿ひ、五十幡ガバナーエレクトの方針を踏まえ以下の戦略項目で活動していきまます。

1. 地区の長期的な目標（地区ビジョン、優先項目）を立案する。
2. クラブが将来のビジョンを明確化する「クラブ戦略計画」の立案をサポートする。
3. 「My Rotary」の活用とロータリー情報を地区、クラブのより良い活動のために提供し役立てる。
4. DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の原則を取り入れ、未来のロータリー活動の中心となる若者や女性会員を増やし、ロータリーの目的と楽しさの理解を進める。
5. 地区リーダーであるガバナーエレクト、デジグネートのスムーズな選出を行うシステムを構築する。
6. 地区諸規定を作成する。
7. 地区運営が共通の認識を持って、健全で、より発展的に実施されるために、地区運営マニュアルを作成する。